

れることが魅力のひとつかなと思います。

医局では指導して下さる先輩も多く、力を結集して行う手術もあります。市中の関連病院では2人や1人での勤務の機会もありますので1人も好きだけど寂しがりやの方にはお勧めの環境かと勝手に思っています。個性派ぞろいの医局ですが昨年度は学外、県外か

らも後期研修医が加わり、さらに若く個性豊かな医局になりました。関連病院で頭頸部外科、形成分野の研修を行っている先生が戻ってきた際にはますます元気に診療に当たっていただけることと思います。私から見た講座の紹介です。楽しさが少しでもお伝えできていれば幸いです。

近 況 報 告

八重山病院での研修

医療法人友愛会 豊見城中央病院 内科 小 禄 雅 人 (19期生)

19期生の小禄雅人です。現在、豊見城中央病院 内科で後期研修中です。

3ヶ月間だけでしたが、八重山病院の業務応援として石垣島へ行ってきました。その時のお話を少しだけさせて頂きたいと思います。

まず、私に八重山病院への業務応援のお話があったのは今年の3月で、県立病院群から臨床研修病院群プロジェクト群星沖縄に医師派遣の依頼があったことがきっかけです。その内容は、中頭病院から宮古病院、豊見城中央病院から八重山病院へ内科医師を応援として派遣できないかとのことでした。正直に言うと、最初は大学病院や県立病院に所属していない私は戸惑いました。しかし、医師不足という問題を抱える離島医療の現状があり、沖縄出身である私が少しでも協力できればという気持ちと、初期研修から豊見城中央病院で研修をしている私にとって、今までと違った環境で仕事をすることが良い経験になるということもあり引き受けることにしました。

八重山病院での研修期間は7月～9月の3ヶ月で、私は6月30日に石垣島へ出発しました。緊張感や期待感など、様々な気持ちを抱えての研修開始となりました。

これまでと環境が変わることで、石垣島での業務・生活に慣れるまでに少し時間が必要かと思っていましたが、八重山病院のスタッフは雰囲気良く、打ち解けるのに時間はかかりませんでした。また、医師だけではなく、看護師、薬剤師、技師も含めた大勢のスタッフに本当にお世話になりました。病院全体の雰囲気が明るく、熱心なスタッフが多いので、病棟での仕事も楽しくスムーズにできました。そして、病棟業務だけではなく、after five でも一緒に充実した時間を過ごすこと

ができました。皆で仕事を頑張った後は、皆で楽しめます。飲み会、ビーチパーティー、たくさんのイベントが迎えてくれます。

勿論、楽しむだけではなく仕事では大変なこともあります。石垣島では八重山病院に救急患者が集中するので、夜間当直、救急当番(日勤帯)などは忙しいです。研修医も付いていない、上級医もいないので業務を一人でこなすのは大変です。しかし、その状況で仕事をするのは良い経験になり、自分が責任を持って仕事をするという意識も高まり充実感があります。また、八重山病院での研修で印象が強いのは、緊急ヘリ添乗です。八重山は離島が多いので、各島で救急患者が発生した場合は、昼夜に関係なく石垣島から医師同乗で迎えに行かないといけません。私も4回ほど添乗しましたが、ヘリ内で行える処置にも限りがありますし、病院内で感じるのと緊張感が違いました。研修において、ヘリ添乗ができたことは大きかったと思います。



大学同期で八重山病院で一緒に研修をした石嶺徹先生(外科)、島袋篤哉先生(小児科)、自分です(左から)